

令和元年度 静岡市発達障害者支援センター「きらり」活動方針

静岡市発達障害者支援センター「きらり」は令和元年度において、平成 30 年度に引き続き静岡市発達障害者支援センター運営事業と発達障害者家族支援・支援体制サポート強化事業について、各関係機関とも連携を図りながらすすめていく。

1 静岡市発達障害者支援センター運営事業

(1) 個別支援の実人数および延べ件数

支援の内容	実人数	延べ件数
相談支援 (日常生活の様々な相談を受け、助言、各種機関紹介、情報提供を行う)	286	294
発達支援 (個々に応じた療育や教育の具体的な手立てについて支援を行う)	169	308
就労支援 (就労を希望する方、就労している方に関係機関と協力して支援を行う)	30	86

(2) 静岡市かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

本研修会は発達障害の早期発見・早期支援の重要性に鑑み、発達障害児者等が日頃より受診する診療所の主治医等の医療従事者等に対して、発達障害に関する国の研修内容を踏まえた研修を実施し、どの地域においても一定水準の発達障害への対応を可能とすることを目的に実施されるものである。

参加対象者は医師、看護師、保健師、心理士、園・福祉関係支援者等としている。令和元年度においても 3 回開催を予定している。

◆令和元年度予定表

第 1 回 7 月 26 日 (金) 19 : 00 ~ 21 : 00 「発達障害のライフステージの課題と支援」 愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科 医師 吉川徹氏 参加申込者 医師 13 名 支援者 83 名
第 2 回 8 月 9 日 (金) 19 : 00 ~ 21 : 00 「発達障害の子育てのヒントと地域資源」 静岡医療福祉センター小児神経科医 (静岡市発達障害者支援センター所長) 前田卿子 参加申込者 医師 21 名 支援者 174 名
第 3 回 11 月 27 日 (水) 19 : 00 ~ 21 : 00 「大学生の発達障害の支援～デイケアのとりくみ～」(仮題) 昭和大学医学部 医師 (予定)

(3) 発達障害を考える会（静岡）

ライフステージに応じた支援をめざし精神科と小児科で情報共有をはかり共通理解をもって発達障害の支援に当たるため、合同研修会を平成 28 年度から引き続き実施する。

共催者である発達障害を考える会（静岡）、医療法人社団明光会あおいクリニック、特定非営利活動法人静岡市障害者協会と協同し企画運営をしている。

(4) 清水発達障害児勉強会

幼児期地域支援のフレーム作りとして、清水医師会と連携して「幼児期支援者の勉強会（子どもの発達支援と家族支援）」を平成 28 年度から引き続き実施する。

(5) 親講座

静岡医療福祉センターと共催して実施している、保護者向けの研修会である。研修は子どものライフステージや特性に合わせた内容を学べるよう企画している。

◆令和元年度予定表

5月30日（木）10：00～12：00 「園・学校の進路選択」 静岡市特別支援教育センター 指導主事 静岡医療福祉センター小児神経科医・静岡市発達障害者支援センター所長 前田卿子
6月20日（木）10：00～12：00 「発達障害の概論」 静岡医療福祉センター小児神経科医・静岡市発達障害者支援センター所長 前田卿子
7月25日（木）10：00～12：00 「親と子の絆」 静岡医療福祉センター小児科医 早川幸代氏
8月25日（日）10：00～12：00 「お父さん・おじいさん・おばあさんのための子どものいいところを伸ばす関わり方」 元静岡市立小中学校教員・臨床発達心理士・特別支援教育士
9月26日（木）10：00～12：00 「地域福祉サービス」 静岡市発達障害者支援センター「きらり」支援員・社会福祉士
10月24日（木）10：00～12：00 「コミュニケーションスキルを育てる～ビデオでペアトレ～」 静岡市発達障害者支援センター「きらり」支援員・公認心理師
11月28日（木）10：00～12：00 「発達障害の概論」 静岡医療福祉センター小児神経科医・静岡市発達障害者支援センター所長 前田卿子
令和2年2月6日（木）10：00～12：00 「思春期の課題」 発達障害児応援団 NPO 法人「ばく」代表

(6) ハッピー子育てプロジェクト～ママ集まれ！～（ストレスマネジメント講座）

平成 22 年度より NPO 法人えじそんくらぶ代表高山恵子氏に講師を依頼し、ストレスマネジメント講座を実施している。この講座は、育児ストレスの発散法と子どものいいところを見つけ伸ばす方法を学ぶこと、母親同士やペアレントメンターとともに学び子に必要な支援見通しをもつことを知ってもらうことを目的としている。平成 30 年度のアンケートによると、「活用度・実用度」は平均 4.87（5 点満点）と高い評価を得ることができている。

令和元年度は、10 月 8 日（火）・10 月 29 日（火）・12 月 3 日（火）の 3 日間 1 コースで実施を予定している。

2 発達障害者家族支援・支援体制サポート強化事業

(1)ペアレントメンター・地域サポーター養成研修

静岡市では平成22年度から同じ様な発達に凸凹がある子どもをもつ親に対して、共感的なサポートを行い、地域資源についての情報を提供することを目的に、ペアレントメンターを養成している。あわせて専門機関等の職員にも研修を受けていただき地域サポーターとして、発達障害児への理解と支援を専門的に学び地域での支援の底上げをはかっている。

◆令和元年度ペアレントメンター・地域サポーター養成研修予定表

第1回 7月27日(土) 9:30~12:30 「発達障害総論」 日本ペアレントメンター研究会副理事長・愛知県医療療育総合センター中央病院児童精神科 吉川徹氏
第2回 9月14日(土) 9:30~12:30 「家族支援のガイドライン」「ペアレントメンター・地域サポーター活動の実際」 静岡市発達障害者支援センター副主任支援員 ペアレントメンター・地域サポーター(予定) 日本自閉症協会理事 江口寧子氏
第3回 9月14日(土) 13:30~16:30 「面接の実際～傾聴と共感～」(ロールプレイをしながら学びます) 「家族支援のガイドライン」「ペアレントメンター・地域サポーター活動の実際」 静岡市発達障害者支援センター副主任支援員 ペアレントメンター・地域サポーター(予定) 日本自閉症協会理事 江口寧子氏
第4回 10月8日(火) 13:00~16:00 「家族支援のためのストレスマネジメント講座①」 NPO 法人えじそんくらぶ代表 高山恵子氏
第5回 10月29日(火) 13:00~16:00 「家族支援のためのストレスマネジメント講座②」 NPO 法人えじそんくらぶ代表 高山恵子氏
第6回 12月3日(火) 13:00~16:00 「家族支援のためのストレスマネジメント講座③」 NPO 法人えじそんくらぶ代表 高山恵子氏

また、実際にペアレントメンター・地域サポーターが関わった事例を検討しスキルアップをはかるためのアドバンス講座(フォローアップ)も平成30年度に引き続き実施予定である。

※平成30年度研修修了者: ペアレントメンター7名(通算63名)、地域サポーター63名

(2) ペアレントメンター派遣予定について

◆ペアレントメンター派遣予定表（延べ30回以上を予定）

派遣先	内 容
親子支援講座	発達が気になる子とその親へのフォローとして開かれる会にスタッフとして参加
親講座	静岡医療福祉センターと共催している親講座で、話題提供者として参加
ほっこりカフェ (おしゃべり会)	ペアレントメンターが中心となり、発達に凸凹のある幼児を持つ保護者の相談を受ける
公立こども園、中 学通級指導教室等 の保護者研修	発達障害、またはその疑いがある子をもつ保護者対象の講演会で話題提供者として参加
ストレスマネジメ ント講座	発達の凸凹がある幼児をもつ保護者の講座で、ファシリテーターとして参加
その他	静岡市発達障害者支援センターに依頼のあった派遣について、センター職員とともにペアレントメンターを派遣する

(3) ペアレント・プログラム

ペアレント・プログラムは、子育てに難しさを感じている保護者が、子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を知り、楽しく子育てにのぞむ自信を身につけることを目的としている。

◆グループ・プログラム（2クール）予定表

第1回	ガイダンス・現状把握表を書いてみよう
第2回	行動で考えよう
第3回	行動のカテゴリーをみつけよう
第4回	ギリギリセーフ！みつけよう
第5回	ギリギリセーフ！をきわめよう
第6回	ペアプロでみつけたことを確認しよう

(4) 支援体制サポート強化事業

発達障害のある人の乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援を行うためのネットワーク及び体制の整備において、発達障害者支援センターを中心とした全市レベルでの支援だけでなく、地域レベル・家族レベルにおける支援が重要と考え、支援機関での支援体制や家族支援体制の強化が効果的である。

このため、巡回支援専門員（支援センター支援員）による巡回相談等により、発達障害や気になる子への支援技術の強化と共有を目的として事業をすすめている。

◆令和元年度の訪問予定表

訪問先	か所数	各訪問回数	合計訪問回数
公立こども園	9 か園(ブロック研修を兼ねる)	各 4 回	36 回
私立幼稚園・こども園	4 か園	各 4 回	16 回
私立保育園・こども園	6 か園	各 4 回	24 回
小規模保育園	4 か園	各 4 回	16 回
公立小学校	5 校	各 4 回	20 回
公立中学校	5 校	各 4 回	20 回
公立高等学校	2 校	各 4 回	8 回